



夢を夢で終わらせない 努力できることが才能である

校長 佐藤 靖子

それぞれ有意義な夏が過ごせましたでしょうか？夏休みには7月20日(土)の県陸上大会から始まり、各種競技の「北信越中学校体育大会」、8月25日(日)まで開催されていた「全国中学校体育大会」まで大会がありました。37日間の夏休みもあっという間に終了しました。今年は、全国大会を北信越ブロックが主催しましたので、出場選手も運営にあたった生徒も、そして当校職員も今までにない経験をしたことと思います。特に、北信越大会2連覇のサッカー部、走高跳 県大会優勝、北信越大会第2位のKさん、それぞれ全国大会への出場等、大活躍でした。

また、文化面でも、吹奏楽コンクール、合唱コンクール、「わたしの主張大会」「英語発表会」等々、数多くの生徒たちが各方面で活躍をし、日頃の努力が実り良好な結果を残しました。応援に駆けつけてくださった保護者、ご家族の皆様にも感謝申し上げます。

夏休み中には、大会やコンクールがある部活、クラブだけでなく、おもてなしの心を大切にする茶道部も活躍していました。茶道部は、日頃お世話になっている職員に感謝の気持ちを伝えようと、7月下旬にお点前を披露しお茶をふるまってくれました。ぜひ、今後も職員のみならず、PTAの皆様や学習支援ボランティアの皆様等も招いてお茶会を開催して欲しいです。



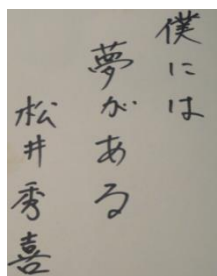
パリ五輪 古俣聖選手(写真 左)

さて、夏休み中にはパリ五輪も開催され、当校の平成24年度卒業生の古俣 聖 選手が、見事にフェンシング男子団体エペで激闘の末、銀メダルを獲得されました。帰国直後の8月9日(金)の夕方、内野中学校へ立ち寄っていただき、活動中の吹奏楽クラブや男女バレーボールクラブの生徒へご挨拶を頂きました。パリ五輪前に内野中学校生徒会から贈呈した応援寄せ書きの色紙は、7月下旬頃、ご家族からすでに現地入りされていた古俣選手に届けられたそうです。古俣選手は「試合までにしっかりと拝見して、嬉しく、そして、勇気をいただきました。」とお話してく

さりました。校内では、実際に目にする機会の少ない五輪の銀メダルも拝見させていただき、居合わせた生徒は歓喜し満面の笑みになりました。また、生徒の皆さんは、五輪の様子や試合の時の心境、フェンシング競技会場だった歴史的建造物グラン・パレの様子など、次々と古俣選手に質問をして詳細を尋ねていました。古俣選手は、「自分がメダルを獲得する意味は、このように皆さんが喜んでくれることなのですね。」と語ってくださりました。「次の目標を目指してさらに練習に励んでいきたい。」と熱く仰っていました。今後も内野中学校から応援し続けたいと思います。



古俣選手の突然の来校に喜ぶ生徒たち



私ごとですが、この度サッカー部の北信越大会、全国大会の試合を応援させて頂きました。石川県で開催された全国大会1回戦、東海ブロック代表静岡学園との闘いは惜敗しましたが、諦めずにボールを追いかける姿は感動的で生徒たちを本当に誇りに思いました。その試合会場であった石川県サッカー・ラグビー競技場から約500m先には、松井秀喜ミュージアムがあります。滅多に来られない機会でしたので、帰り際に立ち寄りしました。松井秀喜選手の栄冠の数々の品と共に、名言もたくさん飾られていました。その中で、特に目に飛び込んだ言葉が「僕には夢がある」と「いじめをなくそう」でした。「僕の夢は野球そのものだったし、甲子園に出ることが夢だった。いじめることが夢なんて一人もいないはず。…」

この度のパリ五輪では、「平和の祭典」であるにも関わらず、戦争が休戦に至らなかったり、一般市民もSNSによる選手への誹謗中傷の攻撃をしたりしたことが大きな話題となっています。誰もが、意見を全世界に自由に発信できるようになったこの21世紀は、武器の使用だけでなく言葉の暴力も広く横行しています。匿名による発信は無責任であり、行き過ぎた言動には、追跡をして法的手段も辞さない日本オリンピック委員会や各種競技連盟も表明しています。誹謗中傷は人権侵害です。松井秀喜氏も、「いじめをする人は、自分の存在価値を示したい人がする誤った行為である」と強く論じています。皆さんの夢は何ですか？

夢を夢で終わらせないためには、『努力できることが才能である』(芸術家 ^{はざまいのすけ} 裕伊之助の言葉)

※ 古俣 聖 選手が来校された時の画像を YouTube「靖子の部屋 番外編」で4分程度にまとめました。よろしければ、ご覧ください。



令和6年度 北信越大会 結果

陸上競技部

<男子> 走高跳 2位 **全国大会出場！**

<女子> 800m 5位

サッカー部

2回戦 内野中○1－0春江中（福井）

準決勝 内野中○1－1筑摩野中（長野）
PK 5－4

決勝 内野中○2－0小針中（新潟）

優勝

全国大会出場！

男子ソフトテニス N.Nクラブ

■団体戦 **2位** **全国大会出場！**

女子ソフトテニス 新潟 UCHINO クラブ

■団体戦 **2位** **全国大会出場！**

■個人戦 **2位** **3位** **全国大会出場！**

剣道部

■女子個人 一回戦 惜敗

水泳競技；

<男子> 100m平泳ぎ 7位

器械体操

個人総合 21位/43位中

令和6年度 全国大会 結果

陸上競技部

<男子>

走高跳 1m79cm 24位

サッカー部

1回戦 内野中●0－4静岡学園（静岡）

男子ソフトテニス N.Nクラブ

■団体戦 1回戦 惜敗

女子ソフトテニス 新潟 UCHINO クラブ

■団体戦 2回戦 惜敗

■個人戦 2回戦 惜敗

3回戦 惜敗

令和6年度 コンクール 結果

吹奏楽部

♪新潟県吹奏楽コンクール **銀賞**

代表選考会 出場

合唱部

NHK全国学校音楽コンクール県大会 **銅賞**

♪全日本合唱コンクール新潟県大会

金賞 関東大会出場！

（関東大会は9月22日に横浜で行われます。）

令和6年度 各種発表会 結果

○わたしの主張新潟市地区大会 奨励賞（2名）

○新潟市中学校英語発表会 参加

○NHK杯全国中学校放送コンテスト 参加

夏休み中の生徒の活躍の様子

夏休み中の生徒の活躍の一端を紹介します。

1 全国大会に出場！

全国大会に出場した選手を代表して、二人の生徒の感想を紹介します。

「全国での挑戦」

サッカー部 部長 O

私たちサッカー部は、石川県で行われた全国大会に出場しました。

一回戦、東海ブロック代表の静岡学園中学校と対戦し、0対4で敗れ、一回戦敗退となりました。

今年は昨年叶わなかった「全国で勝つ」という目標を掲げていました。最初はうまくいかないことも多く、新人戦、市内大会ともに悔しい結果に終わりました。そこから、もう一度チーム一丸となり県大会、北信越大会ともに優勝することができました。

しかし、全国の壁は高く、今年も勝つことができませんでした。ですが、今年もこのような結果を出せたのはチームメイト、先生方、保護者の方々が支えてくれたからだだと思います。本当にありがとうございました。

来年は昨年と今年の思いを受け、是非、全国で勝ってほしいと思います。



「感謝」 陸上部 K

僕は、福井県営陸上競技場で行われた全国大会に走高跳で出場しました。五年間、陸上競技をやってきた中で一番大きな舞台でした。

顧問の乙川先生やアルビレックス・F・プロのコーチなどたくさんの人の支えにより、「全国で戦うにはどのような調整が必要か」や「どのような気持ちが必要か」などを教わり、自分が思いっきり跳べる環境を作っていただきました。

おかげで、自分が出せるものを出し尽くしてやりきることができました。ただ、記録につながらず、すごく悔しく思います。

これから、今回の貴重な経験を生かしていきたいと思います。たくさんの支えてくださった人に感謝を伝え生活していきたいです。



2 広島平和記念式典等への派遣

新潟市主催の派遣事業に応募して、記念式典等に参加してきた生徒の感想を紹介します。



「広島平和記念式典等派遣事業に参加して」

3年 T

僕は、広島平和記念式典等派遣事業に参加してきました。原爆は、教科書やニュースでしか目にすることがなかったので、深く知りたいと思い応募しました。

はじめに、広島平和記念資料館を見学しました。そこには、原爆についての資料が多く展示されていました。原爆により家族を失い、今も放射線の影響に苦しめられている人々のことを思うと、僕は胸が締め付けられるような気持ちになりました。平和記念資料館の見学以外にも被爆者から直接お話を聞いたり、平和記念式典に参加したりしました。

被爆者からのお話では、三歳の時に被爆された方や妊娠中に被爆されガラスが目刺さりながらも子供を育て上げた方の遺族の方からお話を聞きました。当時の状況や原爆の恐ろしさを実感しました。そして、改めて、戦争は二度としてはいけないことだと強く思いました。そして、自分との違いを批判するのではなく、そういう考えもあるのかと受け入れることが平和の一歩だと思いました。

3 新潟市中学校英語発表会への参加



「英語発表会に参加してみて」

3年 W

私は、新潟市中学校英語発表会に参加してきました。発表会はすべて英語で進行し、会場は今まで経験したことがない雰囲気になりました。

私は、「Baseball and I」という題で、発表しました。練習では、発音や表現方法に注意し、聞き手に伝える工夫を試行錯誤しました。本番では、練習の甲斐があり、うまくスピーチをすることができました。これまで英語を指導してくださった先生方に感謝します。

今回の貴重な体験を生かして、今後もさらに自分の英語力をレベルアップしていきたいです。

Thank you!!

4 茶道部の活動を振り返って



「自分を成長させてくれた場所」 茶道部 部長 K

私が茶道部に入部した年は、コロナの影響でお茶を片栗粉に変えてお点前の練習をしました。お茶を飲むこともできず、思うように活動できませんでした。しかし、2年目である去年は学校交流茶会に出席し、茶室ならではの雰囲気や大人や上級生のお点前を見て細かい所作などを学ぶことができました。

そして、今年は夏休み中に三学年の先生方をお招きし、自分たちで茶会を開きお点前を披露しました。茶道は大会がないため、誰かにお点前をお見せする機会がありません。先生方の前でとても緊張しましたが、三年間の集大成ともいえるとても貴重な経験になったと思います。